

平成 17 年 10 月 13 日

H17センサに伴うCOBRIS版 CREDASの改良について (発注者の工事更新機能の追加)

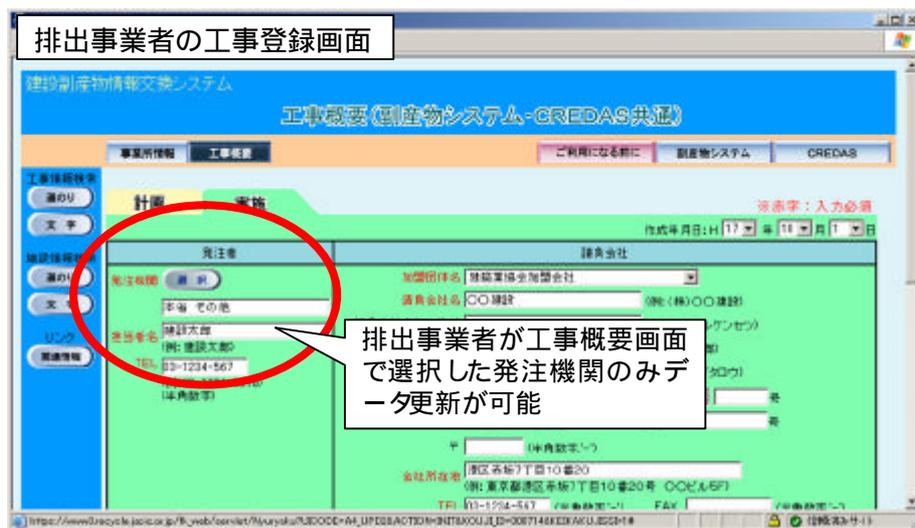
平成 17 年度建設副産物実態調査 (H17センサ) に伴い、COBRIS 版 CREDAS のデータ精度向上のため、平成 17 年 10 月 3 日に発注者側で排出業者の登録した工事情報の更新が行える機能を追加するシステム改良を行いました。発注者の工事情報更新機能の概要は以下のとおりになります。

1. 工事情報更新機能

現在の COBRIS では、元請業者が入力したデータを発注者側で修正することができないため、これを改善し、元請業者が何らかの理由で当該データの修正が困難な場合に、発注者側でデータの修正ができるよう改良を行いました。

【更新条件】

以下の画面のように、排出事業者が工事概要画面で選択する発注機関名称が自機関の工事のみ更新が行えます。



留意事項

- ・ 基本的に排出事業者が登録した工事情報を更新できるのは、自機関で発注した工事 (= 排出事業者が工事概要画面で選択した発注機関) のみです。
- ・ 更新後の情報については、発注機関で責任をもって管理を行って下さい。

【更新方法】

工事情報の更新手順は以下のとおりです。

JACIC 建設副産物情報センターのホームページ (以下、URL)を表示します。

(URL) <http://www.recycle.jacic.or.jp/>

副産物システム (COBRIS)にログインします。

画面上部の [副産物システム] ボタンをクリックして下さい。

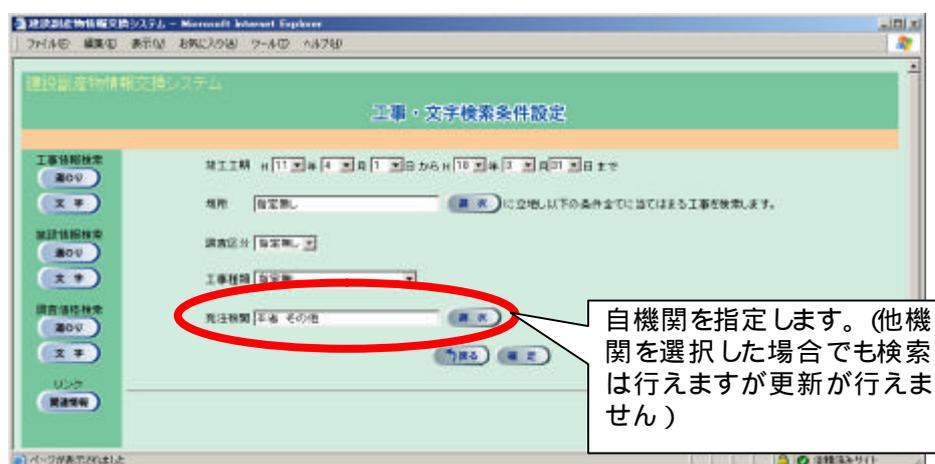
電子証明書が設定されていない場合、ログインできません。

工事情報検索の [文字] ボタンをクリックします。



検索条件を指定します。

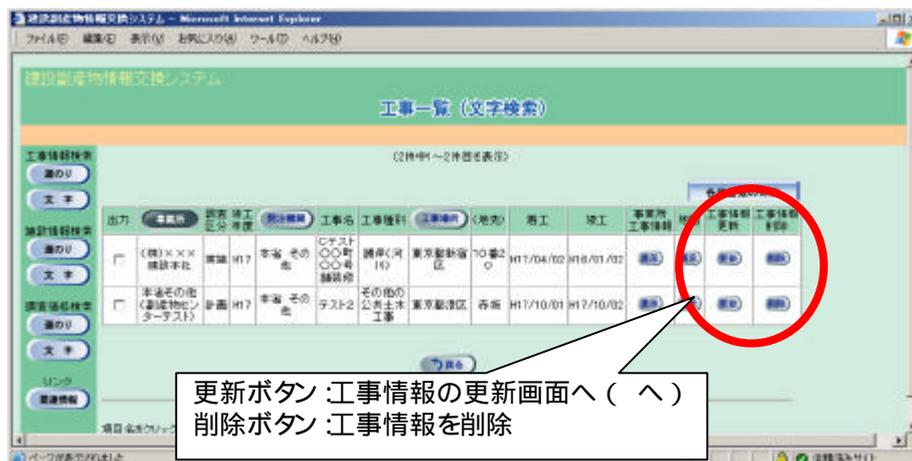
発注機関で自機関 (自分の事務所、部署等)を選択して、[確定] ボタンをクリックします。



検索結果表示までの速度を上げるために、竣工工期をなるべく短く指定することを推奨します。

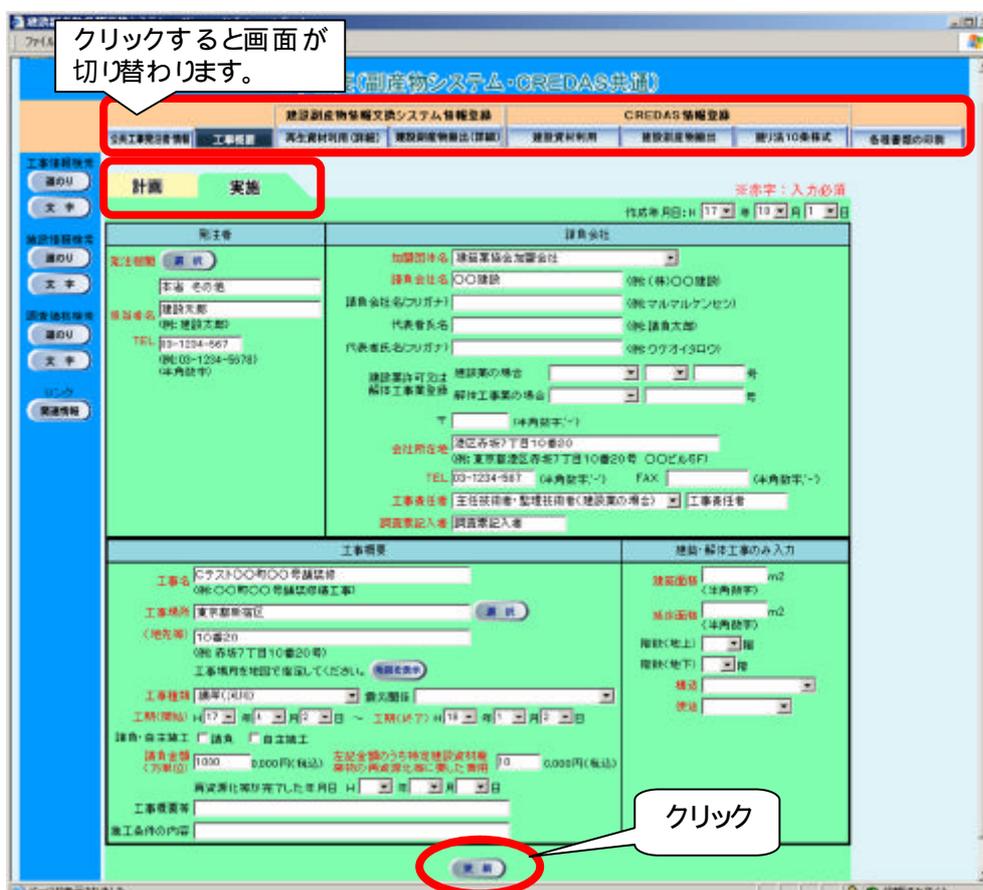
更新したい工事を選択します。

工事一覧が表示されたら更新したい工事の右側にある [更新] ボタンをクリックします。また、削除したい場合は、[削除] ボタンをクリックします。なお、ここで削除した工事情報については完全に消去されてしまうため、元に戻すことはできませんのでご注意ください。



工事情報を更新します。

必要に応じて工事情報を更新 (編集) します。更新が完了したら [更新] ボタンをクリックして、更新した内容を保存して下さい。なお、画面上部の各種ボタンをクリックすることにより、画面が切り替わります。



2. 工事情報新規登録機能

現在の COBRIS では、発注者側で工事情報を新規登録することができないため、これを改善し、元請業者に何らかの理由でデータ登録の依頼が困難な場合に、発注者側でデータの新規登録ができるように改良を行いました。

【新規登録方法】

工事情報の新規登録手順は以下のとおりです。

JACIC 建設副産物情報センターのホームページ (以下、URL)を表示します。

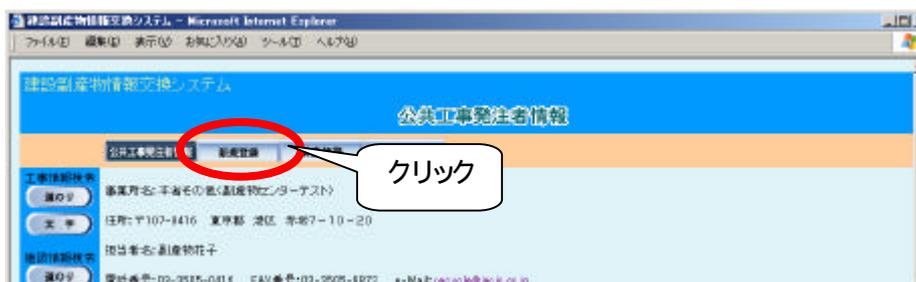
(URL) <http://www.recycle.jacic.or.jp/>

副産物システム (COBRIS)にログインします。

画面上部の 副産物システム ボタンをクリックします。

電子証明書が設定されていない場合、ログインできません。

新規登録 ボタンをクリックします。



工事情報の登録を行います。

工事概要画面が表示されますので、必要に応じて情報の入力を行ってください。

留意事項

- ・ 発注機関で新規登録した工事については、排出事業者で更新することはできません。
- ・ 排出事業者が工事検索を行ったとき、発注機関が登録した工事も閲覧できます。ただし、工事概要のみしか閲覧できませんので、建設副産物の搬出量等は確認できません。
- ・ 排出事業者との二重登録にならないようご注意ください。
(基本的には排出事業者が工事を登録)